

山形県にある火山

～火山災害に備える～

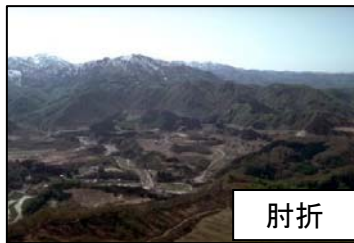
中学生用

山形県内の活火山

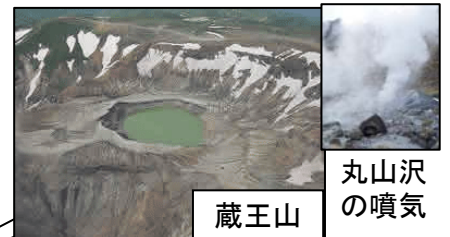
活火山は、ほぼ1万年前以内に噴火したことがあるか、今も活発に噴気をあげている火山のことをいいます。火山が噴火すると恐ろしい災害を起こします。一方、普段は景色や温泉などで私たちの暮らしに豊かな恵みを与えてくれます。



鳥海山

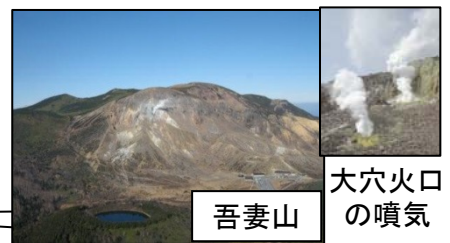


肘折



蔵王山

丸山沢
の噴気



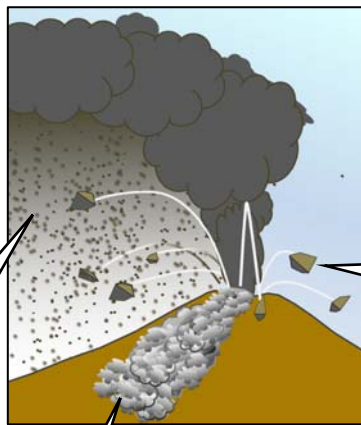
吾妻山

大穴火口
の噴気

火山が噴火すると、こんな現象が起こります。

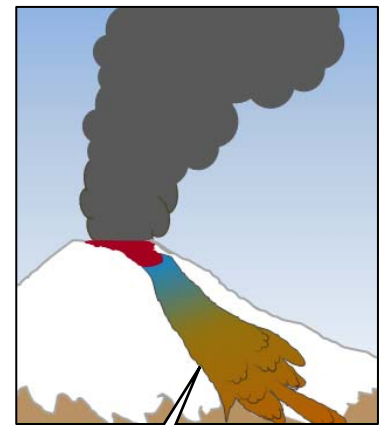
火山灰

溶岩の破片などが吹き上げられた細かい粒で、小さいほど風に流されて飛び、離れた場所でも積もります。



噴石

噴火によって吹き飛ばされる岩石で、大きなものは建物の屋根を打ち破るほどの破壊力があります。



火砕流

高温の火山ガスや空気などと、火山灰や岩石が一体となり、山の斜面を時速100km以上で流れ下ります。

火山泥流

噴火の熱が積雪を一気に融かし、その水や雨水が、岩石や火山灰と混じって谷沿いを流れ下ります。その速さは時速60kmにもなることがあります。

学校で勉強中に火山が噴火したら、先生の指示に従い、避難しましょう。

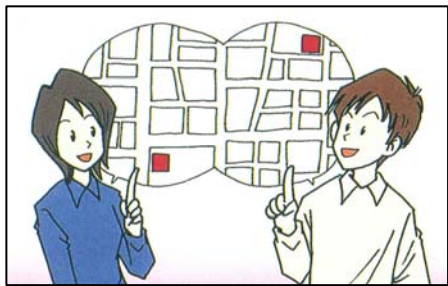


このほかにも、火山ガスや溶岩流など、危険な現象があります。

火山噴火への備え

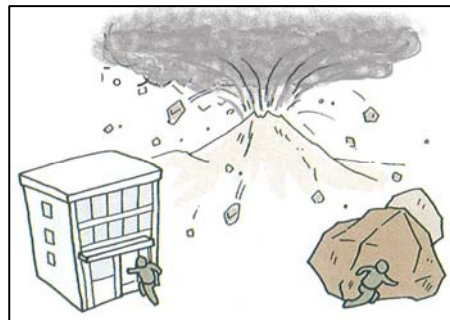


普段から、噴火の際に危険な範囲などが記載されている火山防災マップを確認し、自分の家にどんな危険があるのか確認し、持ち出し品の準備をしておきましょう。



登山の前に、気象台ホームページなどで噴火警報などの情報確かめてから出かけましょう。

避難小屋や避難ルートも調べておいて、自治体などが立入禁止にしている危険な場所には行かないようにしましょう。



噴火時の風下側では、小さな噴石が風に流されて遠方まで降るため、注意が必要です。頑丈な建物の中や、岩陰などに避難しましょう。

登山のときは、様子を見てできるだけすぐに下山しましょう。

みんなで話し合ってみよう！

山形県にある活火山を確認しよう(4つあります)。

学校で勉強中に火山が噴火した時はどうすればいいですか。

火山が噴火したとき、自分の家にどんな危険があるのか確認しよう。

発行：平成 29 年 6 月

発行者：山形地方気象台、山形県教育委員会

問い合わせ先：山形地方気象台 TEL:023-622-0632